

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

1/28

基礎情報							平成26年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標			実績							事後評価			
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
1	総	消防計画等策 定事務	あらゆる災害に 対処するため に、消防計画等 を策定すること を目的としま す。	消防職 員・消 防団員	定例 定型	消防計画の見直 し	年1回	年1回	年1回					1,148		業務 計画	1回	A	災害時を想定した訓練を 実施し、職員の技術能力 を向上させることがで きた。
1		消防計画等策 定事務								消防計画修正及 び事務用品等購 入	消防計画修正 回数	1回	1回		1,076	業務 計画			
1		消防計画等策 定事務								神奈川県下消防 相互応援協定に 伴う事務	応援協定の見 直し回数	1回	1回			業務 計画			
1		消防計画等策 定事務								緊急消防援助隊 の応援、受援に 関する事務	応援、受援準 備日数	365日	365日		0	業務 計画			
1		消防計画等策 定事務								消防訓練に關 する事務	消防訓練回数	年2回	年2回			業務 計画			
1		消防計画等策 定事務								消防計画に關 する事務全般	消防計画に關 する事務全般 の執行率	100%	100%			業務 計画			
1		消防計画等策 定事務								緊急消防援助隊 資機材修繕及び 消耗品補充	資機材及び消 耗品使用状況 による	必要に応じ た回数	必要に応じ た回数		72	業務 計画			
2	総	小型軽量ポン プ整備・訓練 に関する事業	震災時に発生し た、火災や災害 による被害の軽 減を図ることを 目的とします。	消防団 員・自 主防災 組織	政策	防災訓練等の回 数	随時 (25回)	随時 (35回)	随時 (35回)							業務 計画	57回	A	移動式ホース格納箱及び 小型軽量ポンプの取扱い について基本的な技術の 習得をさせることがで きた。
2		小型軽量ポン プ整備・訓練 に関する事業								小型軽量ポン プの整備・訓練に 関する事業	防災訓練等回 数	5回	1回			業務 計画			

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

3/28

基礎情報							平成26年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標				実績							事後評価		
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動 活動量・サービス量			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
														264,522	264,522				
2		移動式ホース 格納箱の指 導・訓練に関 する事業							移動式ホース格 納箱の訓練・指 導	指導訓練等回 数	50回	57回			業務 計画				
3	総	消防水利維持 管理事業	消防水利を常時 使用できるように 維持管理する ことを目的とし ます。	消防職 員・消 防団 員・市 民	定例 定型	使用可能公設消 防水利数	2,529基	2,530基	2,531基					8,712		86箇所	A	ライン塗装や標識交換を 行い、消防水利の保守が 適切に行われた。	
3		消防水利維持 管理事業								消防水利標識看 板の交換等	消防水利標識 看板の交換数	15箇所	15箇所		65				
3		消防水利維持 管理事業								消防水利の修繕	修繕等箇所数	2箇所	3箇所		387				
3		消防水利維持 管理事業								消火栓の表示ラ イン塗装委託	塗装箇所数	86箇所	86箇所		455				
3		消防水利維持 管理事業								消防水利の借地 に関する事務	事務処理の回 数	年1回	年1回		1,080				
3		消防水利維持 管理事業								公設消火栓の維 持管理補償費に 関する事務	締結時期	平成26年 4月	平成26年 4月		2,912				
3		消防水利維持 管理事業								老朽化した防火 水槽の解体 (下町屋)	解体数	1基	1基		3,813				

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

5/28

基礎情報									平成 2 6 年度評価										
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標			実績						事後評価				
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
											活動量・サービス量			当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値						
													264, 522	264, 522					
3		消防水利維持 管理事業							消火栓の表示ラ イン塗装委託	塗装箇所数	8 5 0 箇所	0箇所 (2 7 年度 実施)		0					
3		消防水利維持 管理事業							老朽化した防火 水槽の解体 (室田)	解体数	1 基	0 基 (2 7 年度 実施)		0					
4	総	消火栓整備事 業	消火活動上、必 要な箇所に設置 を進めます。	消防職 員・消 防団 員・市 民	政 策	消火栓の新規設 置数	1 基	1 基	1 基				1, 034		業務 計画	2 基	A	消防活動上必要な地域に 設置を行うことができ た。	
4		消火栓整備事 業							消火栓設置	新規設置数	1基	2 基		1, 034	業務 計画				
4		消火栓整備事 業							2 7 年度消火栓 設置調査	随時	1 基	1 基			業務 計画				
5	総	開発行為に関 する事務	開発行為に伴 う消防水利等事 前協議を行うこ とにより、消防 活動に必要な消 防水利や活動空 地を確保しま す。	開発事 業者	定 例 定 型	32条協議に係る 事前協議数	1 0 0 件	1 0 0 件	1 0 0 件							3 2 件	A	開発事業主と事前に協議 を行い、消防活動上必要 な設備の設置を行うこと ができた。	
5		開発行為に関 する事務							開発行為に伴う 消防用施設の設 置に関する事前 協議	窓口対応日数 (2 4 4 日)	必要に応じ た日数	2 4 4 日							
5		開発行為に関 する事務							開発行為の完了 検査	完了検査数	必要に応じ た件数 (平成25年 度実績12 件)	3 2 件							

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

7/28

基礎情報										平成26年度評価									
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標			実績						事後評価				
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動 活動量・サービス量			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
6	総	災害時協力事業所登録制度事業	市内及び近隣市町の事業所の人員、資機材及び技術等を活用し、災害による被害の軽減を図ります。	事業所	定例定型	協力内容確認調査	30事業所	30事業所	30事業所							既に登録が行われている事業所の資機材等の調査を実施し、本事業の趣旨説明を行った。	A	災害時における登録事業所の協力体制の向上を図ることができた。	
6		災害時協力事業所登録制度事業								災害時協力事業所に関する事務	協力内容確認調査	30事業所	30事業所						
6		災害時協力事業所登録制度事業								災害時協力事業所との事業	災害時協力事業所と共同による消防防災フェスティバル等の実施	平成26年11月	実績なし						
7	総	防火水槽整備事業	大地震時でも使用できる水利を確保し、被害の軽減を図ります。	消防職員・消防団員・市民	政策	防火水槽の新規設置数	3基	2基	0基 (1基)					4,581		業務計画	2基	A	消防団器具置場の建設に伴う、地下ビットの利用や道路残地を利用するなどして設置することができた。
7		防火水槽整備事業								消防用水利の防火水槽設置調査	適地調査	10箇所	10箇所			業務計画			
7		防火水槽整備事業								消防用水利の防火水槽設置整備	候補地選定	2箇所	2箇所			業務計画			
7		防火水槽整備事業								消防用水利の防火水槽設置工事	防火水槽の新規設置数(規格外)	1箇所	1箇所		4,581	業務計画			
8	総	消防機械器具維持管理事業	老朽化した機械器具の点検整備等を適正に行い、365日有効な維持管理を行います。	消防職員	定例定型	資機材の点検整備数	消防車両34台の資機材一式	消防車両34台の資機材一式	消防車両34台の資機材一式					2,882			365日	A	消防機械器具の点検等維持管理を実施できた。

基礎情報			平成 2 7 年度計画							経営改善方針の重点事項に係る取組						広域連携に関する取組		今後の事業展開					
事務事業																							
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	活動			従事者数	予算内訳（千円）		業務 計画	経営改善 方針での 位置付け 等	経営改善による 取り組みの 方向性	目標 (数値目標等)	目標の定義	改善 時期 (年度)	具体的な 改善内容	広域 連携 の 実施	広域連携の 具体的な内容	必要性				事業の 方向性	予算 の 方向性
			活動	活動量・サービス量			当該事務事業 全体の 予算額 (合計)	活動ごとの 予算額															
				活動指標の 名称	目標値																		
																		149,871	149,871				
6	総	災害時協力事業所登録制度事業				0.42				なし						不可		未	中	中	中	現状維持	予算なし
6		災害時協力事業所登録制度事業	災害時協力事業所に関する事務	協力内容確認調査	30事業所																		予算なし
6		災害時協力事業所登録制度事業	災害時協力事業所との事業	災害時協力事業所と共同による消防防災フェスティバル等の実施	平成27年11月																		予算なし
7	総	防火水槽整備事業				0.5			業務計画	なし						不可		未	高	高	高	現状維持	維持
7		防火水槽整備事業	消防用水利の防火水槽設置調査	適地調査	10箇所				業務計画														予算なし
7		防火水槽整備事業	消防用水利の防火水槽設置整備	候補地選定	2箇所				業務計画														予算なし
7		防火水槽整備事業							業務計画														予算なし
8	総	消防機械器具維持管理事業				0.24	3,170			なし						不可		未	高	高	高	現状維持	維持

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

9/28

基礎情報										平成26年度評価										
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標				実績							事後評価			
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動量・サービス量			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析	
								25年度	26年度		27年度	活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)					活動ごとの 決算額
8		消防機械器具 維持管理事業							機械器具の維持 管理及び修繕の 実施	現場での機械 器具使用可能 日数	365日	365日		1,426						
8		消防機械器具 維持管理事業							消防資機材(備 品・消耗品)の 取扱い、整備及 び更新	備品及び消耗 品の使用可能 日数	365日	365日		1,456						
9	総	消防車両維持 管理事業	老朽化した車両 の部品交換や点 検等を適正に行 い、通年有効に 運用し、消防車 両を最大限長く 使用できるよう にします。	消防職 員	定例 定型	消防車両の運行 台数	34台	34台	34台					16,177		35台	A	車両の定期点検等維持管 理を適性の実施できた。		
9		消防車両維持 管理事業							自動車検査・定 期点検の実施	消防車両の運 行台数	34台	35台		16,177						
10	総	安全運転管理 者関連事務	各消防車両につ いて安全運行を 実施します。	消防職 員・消 防団員	定例 定型	安全運転管理者 数	4人	4人	4人					35		4人	A	職員及び団員に対し、安 全運転に関する事務及び 研修が適切に実施でき た。		
10		安全運転管理 者関連事務							消防車両等の運 行に関する安全 運転教育	安全運転講習 及び研修の開 催回数	年5回	年5回		35						
10		安全運転管理 者関連事務							優良安全運転者 表彰上申事務	上申回数	年1回	年1回								
11	総	消防団関連事 務	消防団員の任用 等に関する事務 を適切に実施す ると共に、活動 するための環境 を整備し、消防 団活動の更なる 充実を図ります 。	消防団 員	定例 定型	消防団員数	427人(定数)	427人(定数)	427人(定数)					5,150		410人	A	職員及び団員に対し、安 全運転に関する事務及び 研修が適切に実施でき た。		

基礎情報			平成２７年度計画							経営改善方針の重点事項に係る取組						広域連携に関する取組		今後の事業展開					
事務事業																							
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	活動			従事者数	予算内訳（千円）		業務 計 画	経営改善 方針での 位置付け 等	経営改善による 取り組みの 方向性	目標 (数値目標等)	目標の定義	改善 時期 (年度)	具体的な 改善内容	広域 連携 の 実施	広域連携の 具体的な内容	必要性				事業の 方向性	予算 の 方向性
			活動	活動量・サービス量			当該事務事業全体の 予算額 (合計)	活動ごとの 予算額										① 目的 達成	② ニ ーズ	③ 成果	④ 継続性		
				活動指標の 名称	目標値																		
8		消防機械器具 維持管理事業	機械器具の維持 管理及び修繕の 実施	現場での機械 器具使用可能 日数	3 6 6 日			1, 587															維持
8		消防機械器具 維持管理事業	消防資機材（備 品・消耗品）の 取扱い、整備及 び更新	備品及び消耗 品の使用可能 日数	3 6 6 日			1, 583															維持
9	総	消防車両維持 管理事業				0. 24	15, 706			なし						不可		未	高	高	高	現状維持	維持
9		消防車両維持 管理事業	自動車検査・定期 点検の実施	消防車両の運行 台数	3 5 台			15, 706															維持
10	総	安全運転管理者 関連事務				0. 22	36			なし						不可		未	中	中	高	現状維持	維持
10		安全運転管理者 関連事務	消防車両等の運行に 関する安全運 転教育	安全運転講習 及び研修の開 催回数	年 5 回			36															維持
10		安全運転管理者 関連事務	優良安全運転者 表彰上申事務	上申回数	年 1 回																		予算なし
11	総	消防団関連事務				0. 44	5, 181			なし						不可		未	高	中	高	現状維持	維持

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

11/28

基礎情報										平成26年度評価									
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標				実績							事後評価		
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業 務 計 画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
11		消防団関連事務							消防団員の公務災害及び消防協会関連に関する事務	事務全般の執行	100%	100% (407人)		3,628					
11		消防団関連事務							新入団員への被服の貸与	新入団員に対する被服の貸与率	100%	100% (27人)		1,244					
11		消防団関連事務							消防団員への消耗品の貸与及び管理	団員に対する消耗品等の貸与率	100%	100% (42人)		242					
11		消防団関連事務							古式消防保存会に係る事務	事務全般の執行	100%	100%		36					
11		消防団関連事務							消防団員の入退団及び証明書等に係る事務	消防団員に係る事務の執行	100%	100% (62人)							
11		消防団関連事務							消防団員の表彰に係る事務	消防団員に係る事務の執行	該当する表彰人数	100% (115人)							
11		消防団関連事務							消防団の年間行事に係る事務	消防団に係る事務の執行	平成27年3月末	244日							
11		消防団関連事務							条例等の改正及び消防団内規の策定に係る事務	消防団等に係る条例等の事務	必要に応じた回数	2回							
11		消防団関連事務							消防団協力事業所表示制度認定及び更新に係る事務	消防団に係る事務手続きの執行	必要に応じた事業所致	11事業所							

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報						平成26年度評価													
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標				実績							事後評価		
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度26年度27年度				活動量・サービス量			当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値						
12	総	消防団員訓練 事業	消防団員の活動 能力の向上を図 るため、訓練及 び研修を実施し ます。	消防団 員	定例 定型	事業の進捗状況	隔年開催のため実施しない	40回	隔年開催のため実施しない					2,516			44回	A	消防操法大会に出場し、 訓練の成果を出すことが できた。
12		消防団員訓練 事業								平成26年度消防 操法大会出場に 伴う訓練等を実施	訓練等の実施	38回	44回		2,516				
13	総	消防団報酬等 支給事務	消防団員に対し、報酬及び費用弁償を遺漏なく支給します。	消防団 員	定例 定型	消防団報酬等支給回数	5回	5回	5回					44,298		5回	A	消防団員に対し、報酬及び費用弁償を遺漏なく支給します。	
13		消防団報酬等 支給事務								報酬及び費用弁 償の集計及び支給事務	消防団報酬等 支給回数	年5回	年5回		25,121				
13		消防団報酬等 支給事務								消防団員の退職 に係る事務全般の執行	消防団員の退職に係る事務 執行率	100%	100% (35人)		19,177				
14	総	消防団車両等 整備事業	老朽化した消防 団車両を更新整備することにより、消防力を充実し災害活動体制を強化します。	消防団 員	政策	車両の更新整備台数	消防団車両整備完了(3台)	消防団車両整備完了(3台)	消防団車両整備完了(2台)					33,621		業務 計画	3台	A	老朽化した消防自動車の 更新整備の実施
14		消防団車両等 整備事業								消防団車両更新に係る事務全般の執行	車両の更新整備台数	3台	3台		33,621		業務 計画		
14		消防団車両等 整備事業								消防団車両更新等に伴う事前調整	車両更新等に伴う仕様書作成	2台	2台				業務 計画		

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報						平成26年度評価													
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標			実績						事後評価				
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
15	総	消防団車両等 維持管理事務	老朽化した車両 の部品交換や点 検等を適正に行 い、通年有効に 運用できるよう にし、消防団車 両を最大限長く 使用できるよう にします。	消防団 員	定例 定型	車両の運行可能 台数	32台	32台	32台					3,191			32台	A	車両等の点検維持管理を 計画的に実施できた。
15		消防団車両等 維持管理事務								消防団車両の点 検等を適正に行 い、通年有効に 運用する。	車両の運行可 能台数	32台	32台		3,191				
16	総	消防団活動施 設整備事業	消防団員が充実 した活動を実施 するための活動 拠点を整備し、 市民の生命、身 体及び財産を火 災から保護する とともに被害の 軽減を図ります。 す。	消防団 員	政策	事業の進捗状況	第13分団：室 田地区の器具 置場の移転用 地確保に向けた調整	第13分団：室 田地区の器具 置場の建設	第7分団：西久 保地区の器具 置場の移転用 地確保に向けた調整等					35,377			2施設	A	器具置場建設の完成及び 地権者や自治会などと調 整をして新たに建設計画 を進めることができた。
16		消防団活動施 設整備事業								災害時における 活動拠点の整備 (室田)	器具置場の整 備数	1施設(防 火水槽40 ㎡)	1施設(防 火水槽40 ㎡)		34,794				
16		消防団活動施 設整備事業								器具置場の移転 用地確保に関す る事務(西久 保)	建設用地の整 備(測量・登 記)	1施設	1施設		583				
17	総	消防団活動施 設等維持管理 事業	消防団の活動拠 点である器具置 場の維持管理を 行い、消防団員 が迅速・的確に 活動できる体制 を整備します。	消防団 員	定例 定型	消防団器具置場 数	32箇所	32箇所	32箇所					3,739			32箇所	A	器具置場の維持管理を年 間通じて適切に行うこと ができた。
17		消防団活動施 設等維持管理 事業								消防団の活動拠 点である器具置 場の維持管理を 行い、消防団員 が迅速・的確に 活動できる体制 を整備する	消防団器具置 場数	32箇所	32箇所		3,508				

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報						平成 2 6 年度評価													
事務事業				対象 （顧客）	事業 の性質 区分	指標・目標			実績						事後評価				
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 （第2次実施計画）	事務事業の 目的・成果 （第2次実施計画）			名称	目標値 （第2次実施計画）			活動	活動			決算内訳（千円）		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動量・サービス量			当該事務事 業全体の 決算額 （合計）	活動ごとの 決算額				
											活動指標の 名称	目標値	実績値						
17		消防団活動施設等維持管理 事業							消防団の災害用 備蓄食料3日分 の確保（期限切 れに伴う更新）	備蓄用食料の 更新施設数	6箇所	6箇所		231					
18	総	消防団互助会 関連事務	消防団の充実発 展と円滑な運営 を図るとともに 、団員の福祉 増進並びに福利 厚生と融和協調 を達成する目的 で消防団互助会 に交付金を支給 します。	消防団 員	定例 定型	事業の進捗状況	年4回	年4回	年4回					1,794		4回	A	消防団互助会に関する事 務について年間を通して 適切に行うことができ た。	
18		消防団互助会 関連事務							消防団員の福利 厚生を充実させ る。	事業の進捗状 況	消防団互助 会に関する 事務を実施	4回		1,794					
19	総	消防ポンプ自 動車等整備事 業	複雑多様化した 各種災害に対応 する最新鋭の消 防自動車等を更 新整備すること により、消防力 を充実し、災害 活動体制を強化 します。	消防職 員	政策	車両の更新整備 台数	—	2台	2台					63,873		業務 計画	2台	A	車両の更新及びはしご車 の整備事業を実施でき た。
19		消防ポンプ自 動車等整備事 業							消防車両等更新 に係る事務全般 の執行	車両の更新整 備台数	1台	1台		28,017		業務 計画			
19		消防ポンプ自 動車等整備事 業							消防車両更新等 に伴う事前調整	車両更新等に 伴う仕様書作 成	2台	2台				業務 計画			
19		消防ポンプ自 動車等整備事 業							消防車両の整備	消防車両の整 備	1台	1台		35,856		業務 計画			
720	総	消防団防火衣 等整備事業	消防団員の安全 な活動環境を整 備するため、防 火衣及び防火帽 を更新します。	消防団 員	政策	防火衣等の整備 数	50着（個）	50着（個）	50着（個）					11,250		業務 計画	150着 （個）	A	防火衣及び防火帽の整備 を実施できた。

基礎情報			平成 2 7 年度計画							経営改善方針の重点事項に係る取組						広域連携に関する取組		今後の事業展開					
事務事業																							
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	活動			従事者数	予算内訳（千円）		業務 計 画	経営改善 方針での 位置付け 等	経営改善による 取り組みの 方向性	目標 (数値目標等)	目標の定義	改善 時期 (年度)	具体的な 改善内容	広域 連携 の 実施	広域連携の 具体的な内容	必要性				事業の 方向性	予算 の 方向性
			活動	活動量・サービス量			当該事務事業全体の 予算額 (合計)	活動ごとの 予算額										① 目的 達成	② ニーズ	③ 成果	④ 継続性		
				活動指標の 名称	目標値																		
17		消防団活動施設等維持管理事業	消防団員の災害用備蓄食料 3 日分の確保（期限切れに伴う更新）	備蓄用食料の更新施設数	6 箇所			260															維持
18	総	消防団互助会関連事務				0. 26	1, 794			なし						不可		未	中	中	高	現状維持	維持
18		消防団互助会関連事務	消防団員の福利厚生を充実させる。	消防団互助会に関する事務の進捗状況	1 0 0 %			1, 794															維持
19	総	消防ポンプ自動車等整備事業				0. 28	28, 303		業務計画	なし						不可		未	高	高	高	現状維持	増やす
19		消防ポンプ自動車等整備事業	消防車両等更新に係る事務全般の執行	車両の更新整備台数	1 台			28, 303	業務計画														増やす
19		消防ポンプ自動車等整備事業	消防車両更新等に伴う事前調整	車両更新等に伴う仕様書作成	3 台				業務計画														予算なし
19		消防ポンプ自動車等整備事業																					維持
720	総	消防団防火衣等整備事業								なし						不可		完	高	高	高	終了	予算なし

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

19/28

基礎情報										平成26年度評価									
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標				実績						事後評価			
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
											活動量・サービス量			当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値						
720		消防団防火衣 等整備事業							消防団員の老朽 化した防火衣等 を更新し、安全 な活動環境を整 備する。	防火衣等の整 備数	150着 (個)	150着 (個)		11,250	業務 計画				
21	総	消防団連携強 化事業	現場活動におい て、消防職員と 消防団員との連 携がこれまで以 上に図れるよう 活動体制を整備 し、消防団活動 のさらなる充実 を図ります。	消防職 員・消 防団員	定例 定型	各会議等の回数	39回	39回	39回				16,396			36回	A	予定通りに研修及び訓練 等を実施することができ た。	
21		消防団連携強 化事業							現場活動におい て、消防職員と 消防団員との連 携がこれまで以 上に図れるよう 活動体制を整備 し、消防団活動 のさらなる充実 を図る。	各会議等の回 数	39回	36回							
21		消防団連携強 化事業							消防団活動を充 実させる資機材 等を整備し、消 防職員と消防団 員との連携をこ れまでに以上に 図る。	資機材等の整 備施設数	31箇所	31箇所		16,396					
22	総	救急救命士の 養成及び育成	救急救命士の養 成及び救急救命 士の知識・技術 向上による質の 高い救急サポー スの維持	救急救 命士	定例 定型	救急救命士の養 成、研修人数	救命士の養成 2人 再研修等 25人	救命士の養成 2人 再研修等 26人	救命士の養成 2人 再研修等 26人				6,661		業務 計画	救急救命 士養成2 人 再教育等 38人完了	A	新規救急救命士の継続的 養成と資格取得後の再教 育及び認定取得研修が気 管挿管研修1人を除き実 施できた。	
22		救急救命士の 養成及び育成							救急救命士の継 続的な養成(人 選、派遣手続)	養成人数	2人	2人		4,446	業務 計画				
22		救急救命士の 養成及び育成							救急救命士就業 後再研修への派 遣(人選、派遣 手続)	派遣人数	16人	18人		1,030	業務 計画				
22		救急救命士の 養成及び育成							救急救命士就業 前研修への派遣 (人選、派遣手 続)	派遣人数	3人	3人		300	業務 計画				

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

基礎情報										平成26年度評価									
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標				実績						事後評価			
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
											活動量・サービス量			当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値						
22		救急救命士の 養成及び育成							救急救命士気管 挿管研修への派 遣(人選、派遣 手続)	派遣人数	2人	1人		300	業務 計画				
22		救急救命士の 養成及び育成							救急救命士処置 拡大研修への派 遣(人選、派遣 手続)	派遣人数	12人	資格取得 12人		206	業務 計画				
22		救急救命士の 養成及び育成							救急救命士ビデ オ喉頭鏡講習及 び実習への派遣 (人選、派遣手 続)	派遣人数	4人	資格取得 4人		100	業務 計画				
22		救急救命士の 養成及び育成							救命士が活動す る際の賠償保険 加入/感染性廃棄 物の処理委託	救急救命士賠 償責任保険の 加入人数/感染 性廃棄物の処 理委託件数	保険は全救 命士延べ5 2人/委託 件数 延べ 72件	保険は全救 命士延べ5 2人/委託 件数 延べ 72件		279	業務 計画				
23	総	救助隊員の教 育及び訓練実 施事業	救助隊員の知 識、技術の向上 を図ると共に安 全管理能力の向 上を図る。	救助隊 員	定例 定型	訓練の実施率／ 各大会への選手 派遣数	100% 30人	100% 30人	100% 30人					99		100% 94人	A	訓練研修は予定通り実 施。各指導会は上位の成 績を収めたため、目標を 上回る人数を派遣でき た。	
23		救助隊員の教 育及び訓練実 施事業							救助隊員の各種 訓練、研修を実 施する	隊ごとに個々 に訓練計画を 策定し、訓練 を実施した実 施回数	24回	24回		36					
23		救助隊員の教 育及び訓練実 施事業							湘南地区訓練 会、県・関東指 導会、全国大会 への職員派遣	派遣人数	30人	94人		63					
24	総	救急、救助に 係る業務内容 の検討、調査 及び指導	国等からの通知 等に基づくもの や本市の実情に ついて検討、調 査、指導し、救 急、救助業務の 充実に結びつけ る。	救急 隊・救 助隊	定例 定型	周知、フィード バックをした割 合	100%	100%	100%						業務 計画	100% 対応/救 急隊増隊 に向けて の報告書 作成	A	現状分析を行い、将来人 口、高齢化等を加味した 救急隊1隊増隊に向け ての報告書を作成し、第 3次実施計画策定の資 料とした。	
24		救急、救助に 係る業務内容 の検討、調査 及び指導							国、県等からの 通知等に基づい た業務内容の検 討、調査及び指 導	検討・調査・ 指導の実施率	100%	100%			業務 計画				

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

23/28

基礎情報										平成26年度評価									
事務事業					対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標				実績					事後評価			
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)	名称			目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳 (千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							活動量・サービス量				当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額							
							活動指標の 名称	目標値	実績値				264,522	264,522					
24		救急、救助に係る業務内容の検討、調査及び指導							増加している救急件数に対応する体制を構築するための調査、検討及び準備	調査・検討の実施	10月まで	救急隊増隊に向けての報告書作成			業務計画				
25	総	湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業	メディカルコントロール体制を確立し、救急隊員の資質の向上を目指す。	救急隊員・救急救命士	定例定型	協議会内のセミナー・各部会等開催回数	65回	65回	65回				1,561		業務計画	セミナー、各部会へ延べ73回出席・対応	A	各研修会への派遣、各部会への出席、二次検証の実施、救命行為への指示要請が円滑に行われた。	
25		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業							湘南地区メディカルコントロール協議会が開催する教育研修への派遣等	派遣回数	年17回	年17回			業務計画				
25		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業							各種事後検証作業・検証票印刷を実施	事後検証作業への派遣回数	年12回	年12回	456		業務計画				
25		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業							医師からの指示に対する特定行為等の実施	現場での救命行為への医師の指示回数	救命行為全件数	194件	582		業務計画				
25		湘南地区メディカルコントロール（地域医療機関との連携）事業							湘南地区メディカルコントロール協議会との連絡調整	調整会議等に対応した数	定期的及び随時開催される会議等の数	44回	523		業務計画				
26	総	市内医療機関との連携及び調整事業	患者の要望に沿った救急搬送が可能となるような環境を整える。	市民	定例定型	連絡調整会議実施数	1回以上	1回以上	1回以上					1		連絡調整会議2回/10人	A	市内救急医療機関と連絡会議を開催し、円滑な搬送体制の維持に努めた。	
26		市内医療機関との連携及び調整事業							災害時等における市内救急医療機関との連携体制の維持	連絡調整会議の実施/災害派遣出動回数	2回/年間6回を想定	2回/0回	1						

[illegible]

課かい名	警防救命課
施策目標	消防力を充実し、災害活動体制を強化する

業務棚卸評価シート
(左側)

25/28

基礎情報										平成26年度評価									
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標			実績						事後評価				
事業 No.	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動指標の 名称	目標値	実績値	当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
27	総	救急統計及び 救助統計事務	抽出されたデータ等を基に業務を実施する上での改善や方向性を見い出す。	国・県・湘南地区MC・病院	定例 定型	国、県、地区MC、医療機関等からの照会に対応した率	100%	100%	100%								100% (34回 対応)	A	国、県、地区、医療機関等に対し、遅滞なく対応した。
27		救急統計及び 救助統計事務								国、県、地区、病院等への報告事務	照会等に対応した率	100%	100%						
28	総	安心カプセル・安心カード推進事業	救急活動において、患者に関する必要な情報を迅速に得やすくする。	市民	定例 定型	安心カプセルとカードの配布数	カプセル 4,000個 カード 20,000枚	カプセル 4,000個 カード 20,000枚	カプセル 4,000個 カード 20,000枚					426		業務 計画	カプセル 4334個 カード 23696枚	A	目標値以上の配布が達成できた。新たな配布先の開拓を検討。
28		安心カプセル・安心カード推進事業								医療情報を記入できるカードとカードを収納するカプセルを配布	市民への配布数	カプセル 4,000個 カード 20,000枚	カプセル 4334個 カード 23696枚	426	業務 計画				
29	総	救急隊員の教育及び訓練実施事業	高度化してくる救急業務に対し、円滑に対応できるようにする。	市民	定例 定型	研修・訓練を実施した率	100% (救急隊全体 研修4回/合同 訓練1回)	100% (救急隊全体 研修4回/合同 訓練1回)	100% (救急隊全体 研修4回/合同 訓練1回)								救急隊全体研修会 2回 合同訓練 2回	A	救急隊全体研修の回数は業務上の制約もあり、目標を達成できなかったが、合同訓練を目標を上回り実施した。
29		救急隊員の教育及び訓練実施事業								救急隊員に対し各種研修の受講・訓練を実施する。	研修・訓練実施計画を策定し、実施した実施率	100% (3回)	研修会2回 合同訓練2回						
29		救急隊員の教育及び訓練実施事業								医療機関などにおいての救急隊員全体の教育体制構築に係る調査・検討	調査・検討の実施	4月	年間計画の策定 100%						
30	総	救急車利用適正化事業	救急車の利用についての適正化を図る。	市民等	定例 定型	不適正利用率／啓発活動の実施	15%未満／ 4回以上	15%未満／ 4回以上	15%未満／ 4回以上							業務 計画	12% イベント 3回 広報2回	A	広報紙、ポスターの掲示、電子媒体を使用し、啓発活動を実施し、目標を達成している。
30		救急車利用適正化事業								不適正利用率の調査／イベント、広報紙等の媒体を利用した啓発活動	不適正利用率／啓発活動数	軽症搬送者の内15%未満／4回以上	12% イベント3回 広報2回		業務 計画				

[illegible]

[illegible]

[illegible]